

大谷翔平選手に学ぶ

住職 福島伸悦

大谷翔平選手が所属するドジャースがヤンキースを破りワールドシリーズチャンピオンになったのは記憶に新しいことです。地区シリーズ、パドレス戦一勝二敗で崖っぷちに立たされた時に大谷選手はインタビューで「後がないっていう感覚自体が今の僕には特にない。二連勝すればオッケー」と答えました。そして、言葉通りに連勝してワールドシリーズに進出することができたのでした。

もし、パドレス戦に負けていた時、大谷選手はインタビューで何と答えたのでしょうか。たぶん、対戦相手の勝利を讃え、「来年頑張ります」と負けたことをどうのこうの言うのではなく、次の目標に向かって心は切り替わっているはずですよ。

禅の教えに「柔軟心」という言葉があります。執着や偏見などで凝り固まった自我を棄てることで、真に自由な何物にもとらわれない悟りの境地に到達することです。そして「不動心」という言葉もあります。色々な妄想煩惱に惑わず動揺しない心で、自由自在に動くことのできる心のことです。大谷選手は、この「柔軟心」と「不動心」を兼ね備えていたと言っているでしょう。

勝負の世界は結果がすべてですが、普通の人には物事を「できるか、できないか」と躊躇して実現不可能な事を考えてしまいがちです。

しかし、大谷選手は、常識では考えられないピッチャーとバッターの二刀流を貫き、世界中の人達を驚かせたのでした。

これを裏付けるものは、高校生時代に人生設計ノートを作り、しっかりしたビジョンをもって毎日コツコツと練習を重ねてきたからこそ成しえたのです。

常に前向きに全力でプレイをする姿や、周りにも気配りして士気を鼓舞する姿は、チームメイトだけでなく多くのファンを魅了しています。絶大なる信頼と尊敬を得てきた大谷選手は、素晴らしいとしか言えません。彼の生きざまなど学びたいと思います。